



⑦

塗装改修工事

①材料

壁内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。  
ウリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量  
※規制対象外・第三種

②下地調整

下地の種類	下地調整の種類	備 考
木部	・ R A種 ※ R B種	
鉄鋼面	・ R A種 ⑤ R B種	
亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※ R B種 ・ R C種	
モルタル、プラスター面	・ R A種 ⑤ R B種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修  
※行わない○行う（補修範囲及び補修方法は外壁調査後協議し必要に応じて決定する）

新規鉄面の塗りの種類・ A種 ※ B種

新規木部の塗りの種類・ A種 ※ B種

新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種類  
・ A種 ※ B種

③合成樹脂調合ペイント塗り

新規鉄面の塗りの種類・ A種 ※ B種

④フタル酸樹脂エナメル塗り

新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種類  
・ A種 ※ B種

⑤2液形ポリウレタンエナメル塗り

下地の種類	下地調整	下塗り	中塗り・上塗り	備 考
既存鉄鋼面	R B種[表 7.2.2]	JIS K 5551又は 2 部塗 JASS108-109	JIS K 5658又は JIS K 5659	
既存V P面	R C種[表 7.2.2]	プライマー	JIS K 5658又は JIS K 5659	

※塗装仕様については、塗料メーカーの仕様を原則とし、監督員と協議すること。

新規鋼製建具等 ※ B種

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
鉄面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	
亜鉛めっき面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

既存塗膜	下地調整	種 別
合成樹脂エマルション模様塗り	※ R B種 ・ R C種	※ A種 ※ C-3種
平滑な塗料塗り	※ R B種 ・ R C種	・ A種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

塗り替えの場合

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
コンクリート及びモルタル面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

⑥つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

⑨合成樹脂エマルションペイント塗り

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

⑩合成樹脂エマルション模様塗り

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

塗り替えの場合

既存塗膜	下地調整	種 別
合成樹脂エマルション模様塗り	※ R B種 ・ R C種	※ A種 ※ C-3種
平滑な塗料塗り	※ R B種 ・ R C種	・ A種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

塗り替えの場合

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
コンクリート及びモルタル面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

⑪アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り

下地の種類	新規塗りの種類	塗り替えの種類	備 考
コンクリート及びモルタル面	※ A種 ・ B種	・ A種 ※ B種	

新規の塗りの種類・ A種 ※ B種

⑧その他

①居ながら工事

工事中の住戸は、居住者が居るため、工事中の入居者の通行を確保すると共に、安全対策には、十分配慮すること。

②収付け養生

外壁吹付け時には、足場養生シートによる十分な飛散防止対策を行うとともに、住人の駐車車両についても、車両用ビニールカバーで覆うなどの十分な対策をとること。  
また、ベランダに設置のエアコン屋外機についても必要な養生を行うこと。  
なお、万が一、飛散による苦情及び被害があった場合には、施工者にて誠実に対応すること。

③仮設工事

別途発注の屋上防水改修工事があるため、仮設足場の使用を協議し足場使用の承諾を行うこと。  
また、工事期間の相違がある場合は、昇降足場分について引継ぎ等協議を行うこと。

⑨

アスベスト除去工事

①アスベスト含有仕上塗材が使用されている外壁改修工事

外壁の改修にあつては、「建築物の改修・解体時における石棉含有建築用仕上塗材からの」  
石棉粉塵飛散防止処理技術指針（国立研究開発法人建築研究所）」（以下「技術指針」）に基づき  
行う。  
○施工方法  
・アスベスト含有仕上塗材の除去は、技術指針で隔離養生は必要ないとされている工法で行う。  
（剥離剤併用手工具ケレン工法及び集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法）  
・外壁面の洗浄は飛散のおそれのない水圧（15MPa以下）で行う。  
・アスベスト含有仕上塗材が施工されている部分に対し、切断、穿孔等の作業を行う場合は、事前に  
仕上げ塗材を除去した上で施工する。  
・集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法で使用する集塵装置は、HEPAフィルターを使用し、  
粉塵を除去する方法とする。  
・作業時の剥離養生及びセキュリティゾーンの設置は不要。  
・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う者は、防護服及び防護マスク（フィルターはRL3又はRS3以上）  
を着用する。  
・作業終了時に（作業エリアを出る際）使用した防護服は特別管理産業廃棄物として廃棄する。  
（作業エリア内で袋詰め）  
・集塵機フィルターなどの粉塵が付着した消耗品の交換を行う際には、集積した粉塵を再飛散させ  
ないように、グローブバッグを使用するなどの措置を行う。  
○簡易養生  
・アスベスト含有仕上塗材の除去を行う場合は、作業エリアを明確にし、施工場所周辺の汚損を  
防止するための養生（以下「簡易養生」という）を行う。 ※養生設置箇所（風、足場板、手すりなど）  
○石棉濃度測定  
・環境省の石棉飛散防止マニュアルの記載に準ずる方法で測定すること。  
・測定箇所、時期は次のとおりとする。

測定時期	測定箇所	測定点
処理作業前	作業エリア付近（養生外）	4点
処理作業中	作業エリア付近（養生外）	4点

※測定箇所は監督員と協議し確定すること

○その他  
・着工前に施工方法、簡易養生、石棉濃度測定について事前に監督員と協議すること。

【アスベスト除去部分施工方法】

○外壁改修について、高圧洗浄は飛散の恐れのない水洗とし、足場アンカー、欠損部補修、既存塗膜除去の施工箇所は、アスベスト含有仕上塗材を剥離剤併用手工具ケレン工法及び集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法等で事前に除去し、施工する。（隔離養生なし）

＜足場アンカー設置箇所＞

①足場アンカー設置箇所所特定	②アスベスト含有仕上塗材除去	③足場アンカーを設置
<div>見付け面 断面</div> <div>アンカーポイント</div>	<div>見付け面 断面</div>	<div>見付け面 断面</div>
・足場アンカー設置面にマーキング	・集塵装置付きドリルにより穿孔	・以降通常どおり足場アンカーを設置
・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）	・防護マスク（使い捨てでない）着用	
	・防護服着用	

＜欠損部補修部分＞

①外壁調査	②アスベスト含有仕上塗材除去	③欠損部補修
<div>見付け面 断面</div> <div></div>	<div>見付け面 断面</div> <div>仕上材除去範囲</div>	<div>見付け面 断面</div> <div>仕上材</div>
・外壁補修箇所調査（欠損部調査）	【共通】	・以降通常どおり欠損部補修
・施工場所マーキング	・除去範囲は欠損部から50mm程度	
・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）	・仕上塗材（アスベスト含有）を除去	
	（剥離剤併用手工具ケレン工法）	
	（剥離剤併用集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法）	
	・防護マスク（使い捨てでない）着用	
	・防護服着用	

＜既存塗膜除去部分＞

①塗装が劣化しているか所		
<div>見付け面 断面</div> <div>仕上材</div>		
・外壁補修箇所調査（既存塗膜除去部調査）	・仕上塗材（アスベスト含有）を全て除去	・以降通常どおり外壁改修を行う。
・施工場所マーキング	（剥離剤併用手工具ケレン工法）	
・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）	（剥離剤併用集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法）	
	・防護マスク（使い捨てでない）着用	
	・防護服着用	

＜クラック補修部分＞幅0.2mm以上

①外壁調査（クラック幅）	②アスベスト含有仕上塗材除去	③Uカット施工
<div>見付け面 断面</div> <div>仕上材</div>	<div>見付け面 断面</div> <div>仕上材除去範囲</div>	<div>見付け面 断面</div>
・外壁補修箇所調査（クラック幅調査）	【共通】	・以降通常どおりクラック補修（Uカット）
・幅0.2mm以上のクラックのみUカットを施工	・除去範囲はクラック補修部分に限る（幅10cm程度）	
・Uカットを施工するクラックをマーキング	・仕上塗材（アスベスト含有）を除去	
・ビニールシートによる簡易養生（周囲の汚れ防止）	（剥離剤併用手工具ケレン工法）	
	（剥離剤併用集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法）	
	・防護マスク（使い捨てでない）着用	
	・防護服着用	

設計

縮 尺

設計年月日

R6.5.

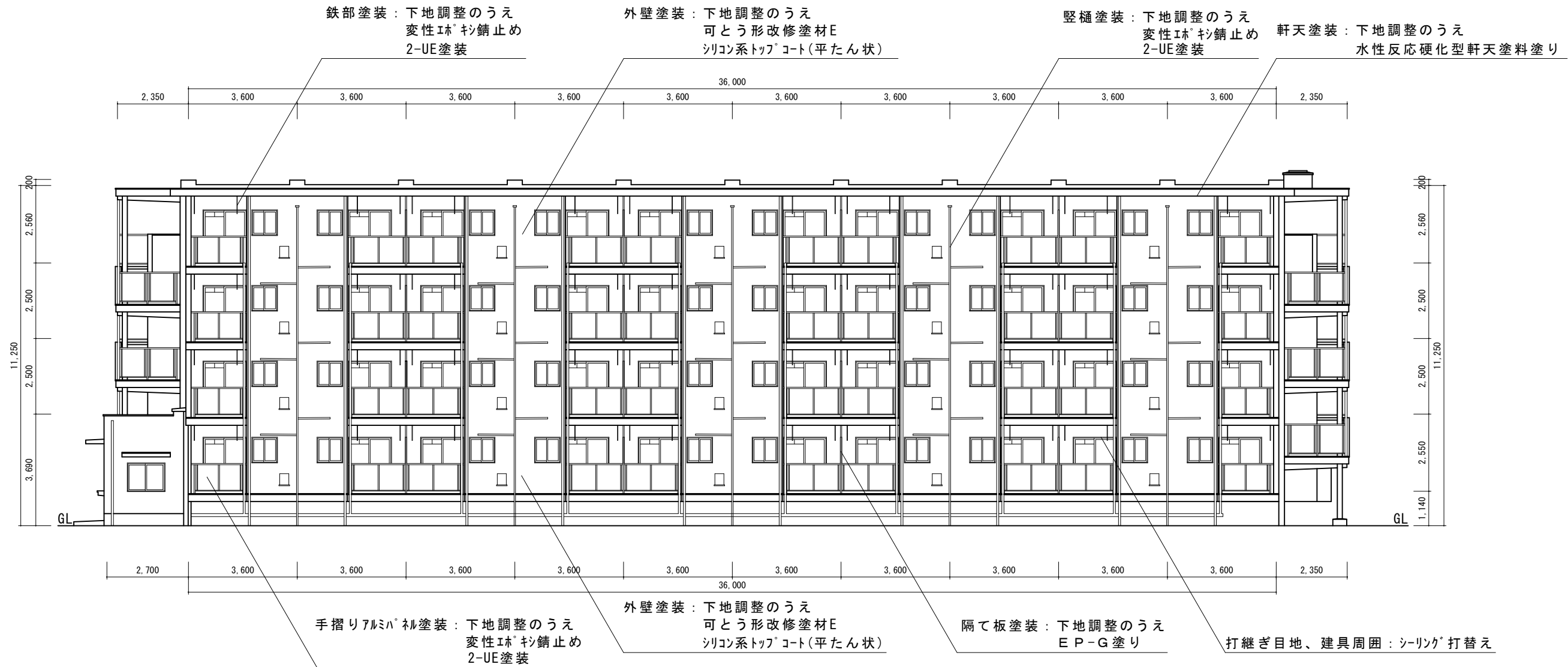
まちづくり部 まちづくり総室 住宅課

工事名称 上町住宅1号館外壁改修工事

図面名称 改修工事特記仕様書

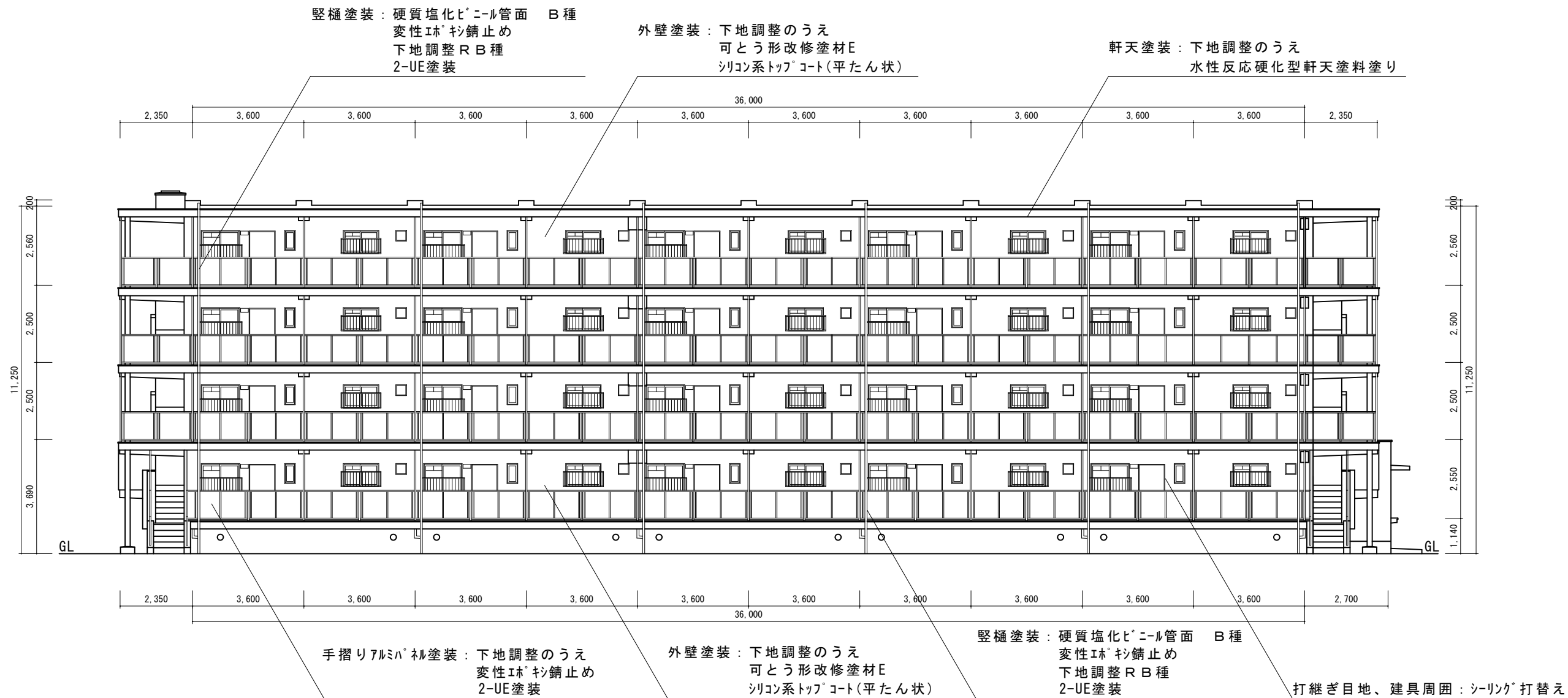
2

No.



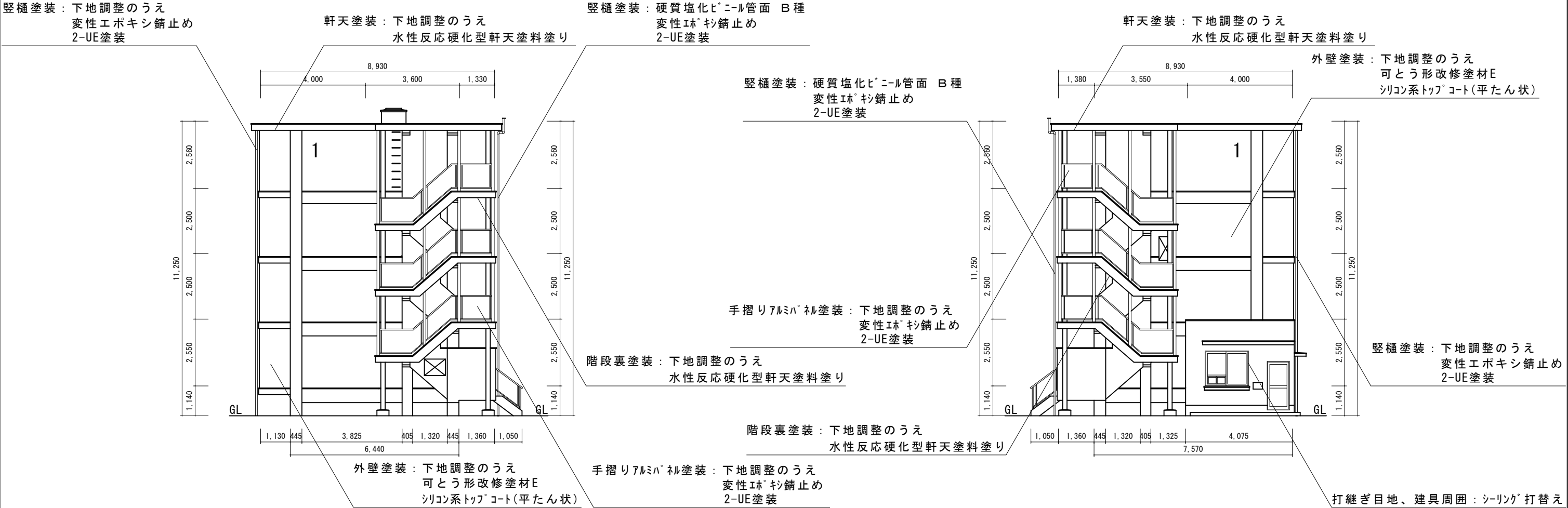
外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） E P-G 塗り	・既存シーリング撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イマル2回塗	・既存シーリング撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカーボルト部分エポキシ樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イマル2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室底）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーボルト部分エポキシ樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イマル2回塗	・笠木ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・スチールタラス類塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イマル2回塗	・バランス釜面ウレタン塗膜防水 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 Uカットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L=50×50 L=750 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イマル2回塗	・シーリング打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・手摺りアルミパネル塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシプライマー 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イマル2回塗	・シーリング打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性エポキシ塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 平たん状		
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化型軒天塗料塗り		

南 立 面 図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） E P-G塗り	・既存シーリング 撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・既存シーリング 撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカーボルト部分イボキシ樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニル管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室庇）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーボルト部分イボキシ樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・笠木ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラス材入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性イボキシ樹脂充填	・スチールタタキ類塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・バランス釜面ウレタン塗膜防水 X-2（密着工法がラス材入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 Uカットシール材充填工法 可とう性イボキシ樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L=50×50 L=750 B種 変性イボキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・シーリング 打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・手摺りアルミパネル塗装 鉄鋼面 B種 変性イボキシプライマー 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系イボ2回塗	・シーリング 打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性イボキシ塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 平たん状		
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化形塗料塗り		

北 立 面 図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・隔て板塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） E P－G塗り	・既存シーリング 撤去 打継ぎ目地
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケレン 清掃 目荒し共	・縦樋、排水管塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・既存シーリング 撤去 建具周囲
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカーベシコング部分Eポキシ樹脂注入工法	・縦樋、排水管塗装 硬質塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・清掃及び水洗い 既存防水面（バルコニー、共用廊下、階段、管理人室庇）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカーベシコング部分Eポキシ樹脂注入工法	・鋼製建具塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・笠木ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性Eポキシ樹脂充填	・スチールタタキ類塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・バランス釜面ウレタン塗膜防水 X-2（密着工法がラスク入） 非歩行用カーケラシコム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 Uカットシール材充填工法 可とう性Eポキシ樹脂充填	・物干し金物塗装 鉄鋼面 L-50×50 L=750 B種 変性Eポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・シーリング 打ち 打継ぎ目地
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部所り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂Eポキシ充填	・手摺りアルミハネル塗装 鉄鋼面 B種 変性Eポキシプライマー 下地調整RB種 ホリウレタン樹脂系Eポキシ2回塗	・シーリング 打ち 建具周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部所り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂Eポキシ充填	・中継ドレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性Eポキシ塗料塗り	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部所り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂Eポキシ充填	・棟番号書き 両面各1ヶ所	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂Eポキシ充填	・避難誘導ステッカー貼 隔て板 150×400 材工共	
・外壁、庇破風塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 平たん状		
・軒天、庇裏、階段室壁、段裏塗装 下地調整のうえ、水性反応硬化形塗料塗り		

東立面図 S=1:150

西立面図 S=1:150